

J R連合 N EWS

JRに集う すべての仲間の JR連合への 総結集を!!

No. 15

2021年7月19日

日本鉄道労働組合連合会

JR西労組第33回定期中央本部大会

団結と絆でこの難局を乗り越えよう!

JR西労組は7月15日~16日、奈良市において第33回定期中央本部大会を開催した。代議員ら約150名出席のもと、2021年度の運動方針を満場一致で決定した。JR連合からは荻山市朗会長、政所大祐事務局長、宮野勇馬企画部長が出席し、連合奈良の西田一



美会長、奈良県交運労協の橋義之副議長、荒井正吾奈良県知事、仲川げん奈良市長らが来賓として駆けつけた。また、三日月滋賀県知事にも Zoom にて連帯のメッセージを頂いた。さらに大会終了後、JR西日本の長谷川一明社長も来場した。

冒頭、上村良成執行委員長(JR連合副会長)は、安全確立、社会変容の対応 等について、「団結と絆でこの難局を乗り越えよう!」と力強く訴えた。

また、来賓として挨拶に立った荻山会長は、「JR産業が国や社会を支える役割を持続的に果たし続けるため、私たちは社会変化に対応し、この難局を乗り越えなければならない。今こそ企画提案運動を!」と力強く訴えた。

議事では2021年度の運動方針等が提起され、本会議15名に加え、JR西労組を特徴づける各小委員会(組織・財政小委員会22名、業務小委員会30名)においても熱い質疑を受け、羽野敦之書記長の総括答弁の後、すべての議案が満場一致で可決された。また、役員改選では長年にわたりJR西労組運動を牽引してきた松原伸芳副執行委員長らが退任した。最後に、再任された上村執行委員長の「団結ガンバロー」で難局に打ち勝つ誓いを新たにした。









